

むゆいげ

93号
No.1093

2011(平成23)年
1月1日

肥料

あのとまきの日
あひの苦しみも
あのとまきの日
あひの悲しみも
みんな肥料に
なっただんなあ
じぶんが自分に
なるため

みつを

相田みつを美術館 オリジナルカレンダーより頂きました

発行者:高槻市氷室町2-19-30

浄土真宗本願寺派

萬徳寺

電話(072)696-0666

FAX(072)692-0769

親鸞聖人
750回大遠忌



新春
新集

萬徳寺 親鸞聖人七百五十回大遠忌法要

新年おめでとうございます。みなさまも、あらたな心で新しい年を迎えられたことと存じます。

親鸞聖人のお言葉に、「**遇^あ難^{がた}くして今^{いま}遇^あうことを得^えたり、聞^き難^{がた}くして已^{すで}に聞^きくことを得^えたり**」とあります。
今年も、新たにいただいたいのちに感謝。お念仏の心溢^{あふ}れた日暮らしをさせていただきましよう。



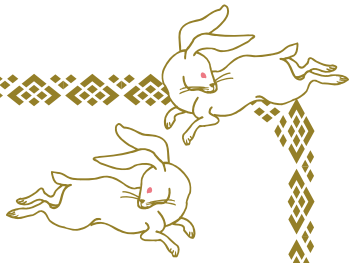


昨年十一月十四日、萬徳寺において親鸞聖人七百五十回
大遠忌法要をにぎにぎしく勤めさせていただきました。
天候にもめぐまれ、大勢の門信徒の方々や子ども達が
お参りしていただきました。写真でご報告させていた
できます。

萬徳寺平成二十三年度 年間仏事行事予定表

- 本山(正忌報恩講)仏壮団体参拝 一月十日(月)
- 門徒冥加金寺勘定日 一月三十日(日)
- 仏教婦人会常例法座 二月、九月
- 永代経法座 四月九日(土)・十日(日)
- 〈講師 野村康治師〉
- 人生講座、音楽法話 六月二十六日(日)
- 〈講師 鈴木君代師〉 八月下旬
- お経の練習会 九月十二日(月)
- 本願寺親鸞聖人七百五十回大遠忌法要 九月初旬か十月初旬
- 萬徳寺親鸞聖人七百五十回大遠忌法要
- 報恩講法座 十一月十二日(土)・十三日(日)
- 〈講師 清岡隆文師〉 十二月三十日(土)
- 除夜会





住職の ひとり言



◆『生と死は紙一重 かみひとえ 今生きていることが 不思議と思えたとき 与えられたこの生命を いのち まことのために生かしたい』
(鍋島俊樹氏)。

二〇二二年(平成二十三年)、今年も新しい年を迎えることが出来た不思議を思います。

◆昨年、萬徳寺におきまして、大勢の門信徒のご参詣のもと、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要を盛大に勤めさせていただきました。お村の中を、二百数十名の稚児行列が練り歩き、讃歌衆の子ども達が明るく元気な声で音楽法要に彩りを添えてくださり、また和太鼓演奏や子どもイベント等、次世代のお寺を担ってくれる子ども達が参加しての、楽しく明るい大遠忌法要になりました。ご参詣いただいた門信徒の皆さま、スタッフの皆さま方本当に有り難うございました。厚くお礼を申し上げます。

◆今年本願寺において、四月から親鸞聖人七百五十回大遠忌法要が勤まります。五十年に一度のご勝縁です。さあ！私たちがもお参りさせていただきますしよう。

個人情報により非表示にさせていただきます。

生老病死の厳しい縁が尽き、阿弥陀さまのお側に還られました。かけがえのないご家族とのお別れです。ご家族の悲しみが、そのまま阿弥陀如来のみ教えとしてはたらし、お浄土に還られた方々からの「お念仏のご催促」と受けとめ、お念仏申す中で亡き方と遇っていただきます。

合掌

【お知らせ】

平成二十三年度(二〇二一年)年回表	
一周忌	平成二十二年 往生
三回忌	平成二十二年 往生
七回忌	平成十七年 往生
十三回忌	平成十一年 往生
十七回忌	平成七年 往生
二十五回忌	昭和六十二年 往生
三十三回忌	昭和五十四年 往生
五十回忌	昭和三十七年 往生

※亡き方を通して、今私たちは頑張っていますよとのお心をお忘れにならないようにお勤めして下さい。お家のご都合で、祥月命日が過ぎててもよろしいですよ。

